

# 八学大へ学生派遣

## タイ・メージョー大が提案

年度内にも

きたら」と呼びかけた。約1時間の協議では今後、学生の受け入れ環境を整えることなどを申し合わ

せた。メージョー大とのやりとりを担っている八学大地域経営学部の横田将志准教授は「さらに具体的な交流内容を決めていく。学生にとってもメージョー大への派遣は貴重な経験になるだろう」と述べた。

教員団は同日、市庁も訪問。熊谷雄一市長に面会し、市議会議場を見学した。(上條哲洋)

タイの国立大学「メージョー大」総合管理学部の教員団が19日、学術交流協定を結ぶ八戸学院大(小林眞学長)を訪問した。今後の交流について内容を協議し、メージョー大側が本年度内にも八学大へ学生を派遣する案を提示。学生だけでなく教員も含めた相互派遣を将来的に実現し、新たな人を数える。

両大学は昨年1月に学術交流協定を締結した。メージョー大からの教員団派遣は初めてで、日本の高等教育や地域マネジメントに関する知見を得るほか、今後の学術交流について協議するのが主な目的。

スリヤジャラ副学長率いる教員団22人は八学大で、小林学長ら同大の関係者に面会。小林学長は「新型コロナウイルスの影響で途絶えていた国際交流に改めて取り組んでいる。次につながる有意義な話し合いがで



学術交流について協議する八戸学院大の関係者(手前側)とメージョー大教員団

19日、八戸市